春風だより

はるかぜ

2016年
秋号
No.10

2ページ …… お互いが喜び合えるハッピーマネジメント
3ページ …… 回復期リハビリに「アウトカム評価」を導入
4ページ …… 笑顔でつき合う認知症～褒め愛効果
5ページ …… まるごと野菜を使い切るコツ
6ページ …… 新任医師の紹介、職員の紹介、園芸リハの取り組み
7ページ …… 院内研修報告会

箱根・芦ノ湖遊覧船と富士山（神奈川県）

お互いが喜び合える ハッピーマネジメント

医療法人春風会　田上記念病院　看護部長　大津秀子

「組織は人なり」という言葉は、よく耳にします。組織が存在するのは組織自体のためでなく組織に与えられた機能を果たすことによって社会、コミュニティー、個人のニーズを満たすためです。「その組織は何か」ではなく「その組織は何をなすべきか。機能は何か」ということです。組織に活力があり活気にあふれている組織もあれば、その逆もあります。

ホスピタリティ研究の第一人者である吉原敬典氏は個人の停滞した瞬間を、「病名」をつけておられます。まず「**日常業務埋没病**」。自分の頭では変わらないといけないと分かっていても、ついつい日常の忙しさの中で、目まぐるしく慌ただしく動き回っているという病です。

二つ目は「**視野狭窄病**」という病名です。今や組織外部にあっては非常にグローバル規模で競争、変革しているにもかかわらず、その実は組織内部にばかり向いている病です。

三つ目は「**役割限定病**」があります。「組織外部は激変しているのだから、あなたも少し考え方を変えなければなりませんよ」と刺激するのですが、全く微動だにしない病です。そして役割を限定的にとらえて変えようとしない。

そして完全治癒するのに多くのエネルギーを必要とする「**変化拒否病**」です。頭では「変革」が必要と十二分に分かっているのですが、長い間組織の中で知らず知らずのうちに身についてしまった習慣病です。

変化のない環境やパターン化した行動は、脳の中で新しいアイデアやイメージが湧かなくなってしまいます。わたしは集中しすぎると、「日常業務埋没病」「視野狭窄病」の多重習慣病にかかってしまうことがあります。日常から離れ、環境を変えることで多重習慣病は軽快します。日常はパターン化し、本来可視化されている世界が自己鈍麻していくことに苦痛を感じるようになるからです。知らない土地、人との出会いは脳をリフレッシュし、クリエイティブでモチベーションアップに繋がり、「心」「脳」は活性化し、新鮮で軽快な気持ちにリフレッシュしてくれます。

しかし今まさに、人と人とが交流しなくなっている社会があります。社会変化からセルフサービスが増えています「セルフでお願いします」と言われて喜んでいる人が多い、「楽で手っ取り早いということなのでしょう」。それは本当に私たち人間の「生」を証明することなのでしょうか。

早い、安い、簡単などわたしたちの基本欲求で基本価値ですし、期待価値でもあります。しかし安全、安心は基本価値ではありますが、滞在的に願望価値を付加しているものでもあります。そして頭と心を使い未知価値といって期待していない「もの」や「こと」、「場」を創造し提供するのが「クオリティー」です。提供された人は感激し驚嘆し魅了されます。

旅先でこのような出来事がありました。友人が「乳がんで右乳房を全摘し大浴場温泉に入りたくない」と話していたときのことです。話が聞こえていたのでしょう、「ちょっと待っていてください」といわれました。しばらくしてサービス担当の女性の方から「家族風呂の空いた時間がありますので、そちらの温泉をご利用されてはいかがですか」と。「もちろんサービスです。どうぞごゆっくり」。なんと行き届いた心遣いだろうと。わたしたちは笑顔になり、もやもやした気持ちも疲れも一気に吹っ飛びました。

世の中は成果主義の考え方が定着してきています。最近ではロボットホテルなども進出し、すべてがITやAI（人工知能）化してきています。医療は多職種がお互いに能力を発揮しているチーム医療組織です。「**組織は人財なり**」そして「**看護は慈愛の精神で**」。

すなわち、わたしもあなたもハッピーになれますように、わたしもあなたも共に喜び合い、共に笑い合える「ハッピーマネジメント」を、わたしたち組織は目指しています。

リハビリ　回復期リハビリに「アウトカム評価」を導入

2016年度診療報酬改定では、質の高いリハビリテーションを推進する観点から、回復期リハビリテーション病棟に「アウトカム評価」が導入されました。

リハビリの改善実績は、1入院当たりの平均的なADL（日常生活活動）の伸びによって決定します。具体的には、「各患者様の入棟時から退棟時までに増えたFIM（機能的自立度評価表）の運動項目得点の総和」を、「患者様ごとに在棟期間を算定日数の上限で割った値（在棟率）の総和」で割った値（実績指数27点）をもとに判断されます。実績指数27点を下回らないよう質の高いリハビリテーションを提供し、患者様の早期機能回復を推進しなければなりません。

質の高いリハビリテーションの評価等、患者の早期機能回復の推進

平成28年度診療報酬改定

急性期 → 回復期 → 維持期

入院

通院

介護事業所、日常生活等

キーワード１　早期からのリハビリテーション

- 初期加算、早期加算の算定要件等の見直し
- ADL 維持向上等体制加算の施設基準の見直し　等

キーワード２　質の高いリハビリテーション（アウトカム評価）

- 回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカムの評価

キーワード３　多様な状態に応じたリハビリテーション

- 摂食機能療法の対象の明確化等
- 廃用症候群リハビリテーション科の親切
- 心大血管リハビリテーション科の施設基準の見直し
- 運動器リハビリテーション科の評価の充実
- リンパ浮腫の複合的治療等

キーワード４　具体的な目標を意識した戦略的なリハビリテーション

- 要介護被保険者の維持期リハビリテーションの介護保険へ移行（目標設定支援等・管理料の新設）

当院回復期病棟におけるアウトカム評価　FIM 実績指数向上への取り組み

リハビリテーション部　奥 民世（理学療法士・主任）

1. 病棟スタッフによる病棟内リハビリの実施

通常のリハビリ以外の時期で、患者様１人１人の身体状況に応じたリハビリを看護師、看護助手が実施しています（起立訓練、歩行訓練、筋肉増強訓練等）。リハビリの内容は少しずつ充実し、病棟内に活気が出てきています。

2. 排泄動作を中心とした病棟内の取り組み

排泄が自立していない問題は、在宅退院に向け大きな支障となります。病棟・リハビリスタッフは連携し、ご本人が排泄自立に近づけるよう重点的に排泄誘導等対応します。

3. 病棟内リハビリデモンストレーションの実施

毎週火～金曜日 15 時より実施中。デモンストレーションを通して患者様の適切な介助方法や現在の身体能力を確認していきます。

4. リハビリ・病棟合同勉強会

おおよそ月に１回実施しています。現在は、FIM（機能的自立度評価表）に関する内容を中心に行っています。

新任医師の紹介

診療科：循環器内科

出身大学　防衛医大
趣　　味　読書
血 液 型　B型

亀澤 康裕 医師
（平成28年4月1日入職）

外来診療日　午後診療　水曜日　14：00～17：30

医師になって25年経過。
家族4人、犬1匹と暮らしています。

“人は始められる限り、いつまでも若くある”

という言葉がありますが、今までの循環器内科としての経験・手法を踏まえこちらで診療を行っていきたいと思います。
皆様のお役に立てるチーム医療を行いたいと思いますので宜しくお願いします。

職員の紹介

看護部主任 **竹下 ちふゆ**

簡単に自己紹介いたします。私の名前は、竹下ちふゆです。珍しい名前だと言われますが、名前の由来は分かりません。休みの日にしていることは、愛犬とゴロゴロしながらDVD鑑賞をしています。

次に病棟の紹介をいたします。回復期病棟は患者様の疾患だけではなく、人生そのものに焦点をあて、再びその人らしく生きられるように、専門職がチームを組んでアプローチをしています。

患者様が回復していく姿を共に分かち合える喜びや、患者様ご家族に関わりを持ち、精神的なサポートを行いながら一緒に頑張ることができる病棟です。

活動報告
～リハビリテーション部より～

園芸リハビリテーションの取り組み

通所リハビリテーション・作業療法士　満 貴之

園芸療法では、畑を耕し、種まきから収穫までの一連の過程で、除草や水やりといった管理を含めた作業を行っていただいています。

筋力やバランス能力といった身体機能の維持･向上だけでなく、手作業をしながらの話や、次の作業の段取りを考えるといった『ながら作業』を行うことが刺激となり、認知機能の維持･向上を図る目的で行っています。

対象の方には自発的に作業に取り組まれていたり、季節や植物の成長に対する興味･関心の向上がみられています。

現在、二十日大根やミニトマトの収穫ができており、利用者の方からも達成感や満足感のお声をいただいております。

また、他のご利用者様も花の成長や畑を見てみたいと、屋外歩行に積極的になられ、興味･関心や意欲の面での高まりが見られます。

褥瘡対策委員会・感染症対策委員会研修会を開催

日時：平成28年6月28日（火）
時間：18：00～19：00
場所：田上記念病院　リハビリ室

褥瘡対策委員会

講師：栄養科　久保主任（管理栄養士）

テーマ

褥瘡の栄養管理

内容
❶ 褥瘡患者栄養管理
❷ 褥瘡発生の危険因子
❸ 褥瘡予防への栄養介入

褥瘡対策委員会では、これまで褥瘡に関する基礎知識やポジショニングについて、勉強会を開催してきました。今回は、「褥瘡の栄養管理」というテーマで、褥瘡患者さんに必要な栄養や補給量、褥瘡発生の危険因子「低栄養状態」を確認するための指標を研修しました。

褥瘡は一度作ると治癒に困難を来します。褥瘡予防のための全職員が情報を共有し、対策に取り組んでいきます。

感染症対策委員会

講師：リハビリテーション部　持増主任（言語聴覚士）

テーマ

高齢者の誤嚥性肺炎について

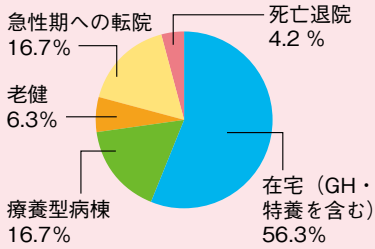
内容
❶ 高齢者誤嚥性肺炎の発生機序
❷ 不顕性誤嚥のメカニズム
❸ 口腔内細菌の危険性と誤嚥性肺炎
❹ 口腔ケアによる誤嚥性肺炎の予防とさまざまな効果

高齢者の肺炎発症に重要な不顕性誤嚥（夜間にムセなく誤嚥する状況）のメカニズムや、誤嚥性肺炎の予防に口腔ケアが重要であることを学びました。

年々、増加傾向にある高齢者肺炎ですが、当院でも不顕性誤嚥を最小限に抑えるために、看護・介護者の細かい観察や日常的な口腔ケア、胃・食道からの逆流防止のための、就寝時ベッドギャッジアップに努めていきます。

当院における回復期病棟診療統計データ（平成28年1月～6月）

退院先割合



※死亡・急性期への転院を除く在宅復帰率…71.1%

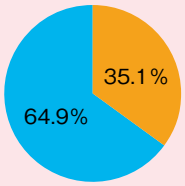
退院者数（人）

在宅（GH・特養を含む）	27
療養型病棟	8
老健	3
急性期への転院	8
死亡退院	2
対象外疾患患者	2
計	50
退院者平均年齢（歳）	78.3

病床稼働率（%）

1月	83
2月	81
3月	84
4月	68
5月	63
6月	55
平均稼働率	72.3

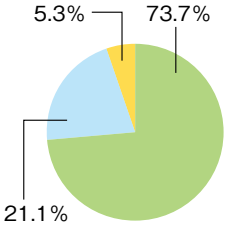
入院時重症度判定割合



	日常生活機能評価	人数
1	10点以上	13
2	10点未満	24
	計	37

■10点以上
■10点未満

疾患別退院患者割合



	脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、腕神経叢損傷等の発症または手術後、義肢装着訓練を要する状態（高次脳機能障害を伴った重度の脳血管障害、重度の頸髄損傷、頭部外傷を含む多部位外傷の発症又は手術後）
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節、2肢以上の多発骨折
	外科手術又は肺炎等の治療時の安静による廃用症候群
	大腿骨、骨盤、脊髄、股関節又は膝関節の神経、筋又は靱帯損傷

疾患別退院患者数（人）

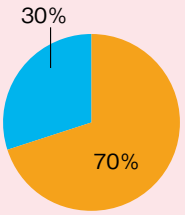
	28
	8
	2
	0
計	38

疾患別平均在院日数（日）

	103.40
	79.89
	70.25
	0
全体	84.51

※急性期への転院・死亡退院患者は含まない

退院患者回復割合



	重症患者回復加算	人数
1	3点以上	14
2	3点未満	6
	計	20

■3点以上回復
■3点未満回復

春風だより　2016年 秋号　No10　発行：医療法人春風会　田上記念病院

医療法人春風会
田上記念病院

〒890-0033　鹿児島市西別府町1799番地
TEL：099-282-0051　FAX：099-282-6600
地域連携室　TEL：0120-83-0051　院長：中村浩一郎
メールアドレス　info@shunpukai.com

診療科目

内科・神経内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・脳神経外科・リハビリテーション科・歯科

診療時間

午前 /　9:00 ～ 12:30
午後 / 14:00 ～ 17:30

病床総数

210床
内訳 / 回復期リハビリテーション病床（30床）
医療療養型病床（120床）　介護療養型病床（60床）

交通アクセス

●お車でのご来院
鹿児島ICより松元方面へ約10分　鹿児島中央駅より約15分

●バスでのご来院
鹿児島中央駅からご利用の場合：
南国交通バス/鹿児島中央駅東口18番乗り場
【池田高校前】行き、【石谷】行き、【下入佐】行き、
【飯牟礼郵便局】行き、池田高校前バス停下車　徒歩約5分

介護老人保健施設
ナーシングホーム田上苑

〒890-0032
鹿児島市西陵6丁目21-18
TEL：099-283-0120
○介護老人保健施設（老人保健施設）
○短期入所療養介護（ショートステイ）
○通所リハビリテーション（デイケア）

介護付有料老人ホーム
クレセール天保山

〒890-0056
鹿児島市下荒田2丁目39-1
TEL：099-806-0033

介護支援事業所　はるかぜ
〒890-0056　鹿児島市下荒田2丁目39-1
TEL：099-812-4305

グループホーム（認知症対応型共同生活介護/介護予防）
はるかぜグループ

（提携特養）

特別養護老人ホーム　やすらぎの里（社会福祉法人希望会）
〒899-5543　鹿児島県姶良市下名2992
TEL：0995-65-1641

特別養護老人ホーム　松恵園（社会福祉法人松恵会）
〒890-0033　鹿児島市西別府町1920
TEL：099-282-7520

ホームページ　http://www.shunpukai-hospital.com/